

< 調査のあらまし >

1. 調査の目的

この調査は、県政に対する県民の関心、意見、要望、評価などをとらえ、県行政の推進を図るうえで必要な基礎的資料を得るために実施したものである。

2. 調査の項目

- | | |
|----------------|------------------------|
| (1) 生活意識 | (7) 新規需要米（米粉, 飼料用米）の需要 |
| (2) 茨城県民の郷土愛 | (8) 生涯スポーツ振興 |
| (3) 科学技術の振興 | (9) 県民の治安に関する意識とその変化 |
| (4) 県の文化振興 | (10) 防犯意識とその変化 |
| (5) 健康長寿社会への対応 | (11) 広報活動 |
| (6) 商店街の利用状況 | (12) 県政への要望 |

3. 調査の設計

- | | |
|------------|----------------------|
| (1) 調査地域 | 茨城県全域 |
| (2) 母集団 | 県内に居住する満20歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 1,500人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳等からの層化二段無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 調査員による個別面接聴取法 |
| (6) 調査時期 | 平成22年9月3日～9月13日 |
| (7) 調査実施機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |

4. 回収結果

- | | | | |
|------------|--------------|----|--------------|
| (1) 回収数（率） | 1,135（75.7%） | | |
| (2) 事故数（率） | 365（24.3%） | | |
| (3) 事故内訳 | 転居 | 34 | 住所不明 21 |
| | 長期不在 | 41 | 拒否 118 |
| | 一時不在 | 77 | その他（病気など） 74 |

5. 報告書の見方

本報告書を読む際には、次の点に留意してください。

1. 比率はすべて百分率で計算し、小数点以下第2位を四捨五入して計算した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
2. 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として計算した。
3. 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
4. 図表・本文では、スペースの都合等により回答選択肢を省略して表記している場合がある。
5. クロス集計では、分析軸の「その他」、「無回答」を掲載していないため、分析軸における各項目のnの合計値と全体の数値とが合わない場合がある。
6. クロス集計時に、nが小さい数字になる場合は統計的誤差が生じる可能性が高いので注意が必要である。
7. この調査の標本誤差は次の式によって得られる。ただし、信頼度を95%とする。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（茨城県の20歳以上人口）
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 p = 回答の比率（%）

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答比率 (p) 回答者数 (n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,135	±2.52%	±3.36%	±3.85%	±4.11%	±4.20%
1,000	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

※ 上表は $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

〈注／この表の見方〉

例えば、「ある設問の回答者数が1,135人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±4.11%以内（55.89～64.11%）である」とみることができる。

< 調査対象の属性 >

【地域】	(n)	(%)	
県北	261	23.0	23.0
県央	181	15.9	15.9
鹿行	105	9.3	9.3
県南	364	32.1	32.1
県西	224	19.7	19.7
【市郡】	(n)	(%)	
人口10万人以上の市	508	44.8	44.8
人口5万人以上の市	354	31.2	31.2
人口5万人未満の市	174	15.3	15.3
(市部 計)	1,036	91.3	91.3
郡部	99	8.7	8.7
【性別】	(n)	(%)	
男性	574	50.6	50.6
女性	561	49.4	49.4
【年齢】	(n)	(%)	
20～29歳	90	7.9	7.9
30～39歳	178	15.7	15.7
40～49歳	222	19.6	19.6
50～59歳	253	22.3	22.3
60～69歳	248	21.9	21.9
70歳以上	144	12.7	12.7
(60歳以上 計)	392	34.6	34.6
【職業】	(n)	(%)	
農林漁業	52	4.6	4.6
商工サービス業	116	10.2	10.2
自由業	30	2.6	2.6
管理職	82	7.2	7.2
事務職・専門技術職	270	23.8	23.8
労務職	138	12.2	12.2
学生	7	0.6	0.6
主婦	266	23.4	23.4
その他の無職	169	14.9	14.9
(自営・家族従業 計)	198	17.4	17.4
(被傭者 計)	490	43.2	43.2
(無職 計)	442	38.9	38.9
無回答	5	0.4	0.4
【居住年数】	(n)	(%)	
3年未満	23	2.0	2.0
3～4年	22	1.9	1.9
5～9年	41	3.6	3.6
(9年以下 計)	86	7.5	7.5
10～19年	77	6.8	6.8
20～29年	193	17.0	17.0
30年以上	778	68.5	68.5
無回答	1	0.1	0.1

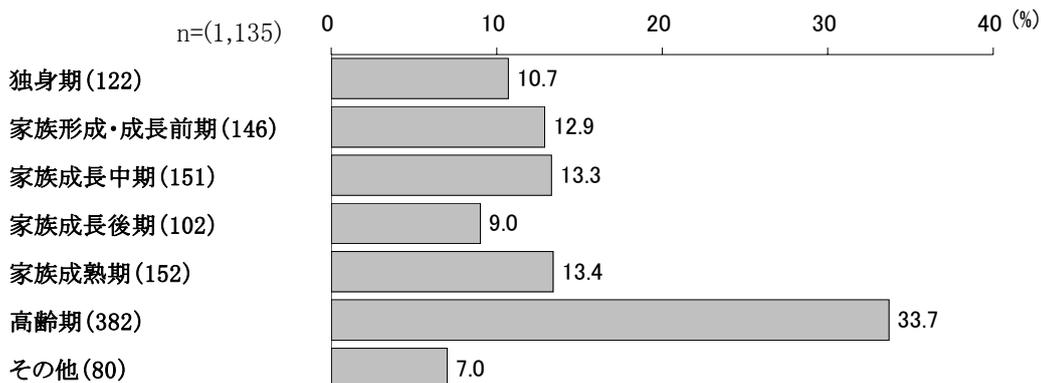
【ライフステージ】	(n)	(%)	
独身	195	17.2	17.2
子どものいない夫婦	75	6.6	6.6
末子が小学校入学前の子どもの親	125	11.0	11.0
末子が小学生の子どもの親	92	8.1	8.1
末子が中学生の子どもの親	59	5.2	5.2
末子が高校・大学・大学院生の子どもの親	102	9.0	9.0
末子が教育終了し、就職または結婚した子どもの親	468	41.2	41.2
その他	16	1.4	1.4
無回答	3	0.3	0.3
【子どもの有無】	(n)	(%)	
小学校入学前の子ども	125	11.0	11.0
小学校在学中の子ども	137	12.1	12.1
中学校在学中の子ども	103	9.1	9.1
高校在学中の子ども	91	8.0	8.0
大学在学中の子ども	48	4.2	4.2
学校を終えた未婚の子ども	237	20.9	20.9
結婚した子ども	127	11.2	11.2
同居している子どもはいない	186	16.4	16.4
子どもはいない	286	25.2	25.2
無回答	5	0.4	0.4
【高齢者との同居】	(n)	(%)	
いる	583	51.4	51.4
いない	548	48.3	48.3
無回答	4	0.4	0.4
【新聞の購読】	(n)	(%)	
購読している	882	77.7	77.7
購読していない	251	22.1	22.1
無回答	2	0.2	0.2
【インターネットの接続環境】	(n)	(%)	
パソコンがあり、インターネットに接続している	708	62.4	62.4
パソコンはあるが、インターネットに接続していない	127	11.2	11.2
パソコンがない	296	26.1	26.1
無回答	4	0.4	0.4
【住居形態】	(n)	(%)	
一戸建住宅	1,019	89.8	89.8
一戸建住宅以外の集合住宅	107	9.4	9.4
不明	9	0.8	0.8
【調査地点環境】	(n)	(%)	
住宅地	753	66.3	66.3
商店街	49	4.3	4.3
工場地区	0	0.0	-
農山漁村地区	325	28.6	28.6
不明	8	0.7	0.7

【ライフステージの設定】

本調査の対象者の年齢構成は3ページにあるとおりだが、県民の意識は家族構成、特に、子どもの成長段階によって異なると考えられる。そこで、末子の成長段階を分類の中心とし、ライフステージとして下記のとおり6分類した。

1. 独身期…39歳までの独身者
2. 家族形成・成長前期…39歳までの夫婦だけの世帯、および末子が6歳未満の世帯
3. 家族成長中期…末子が小・中学生の世帯
4. 家族成長後期…末子が高校・大学生の世帯
5. 家族成熟期…59歳までの夫婦で、末子が教育終了している世帯
6. 高齢期…60歳以上で、上記分類に該当しない人
7. その他…上記1～6以外の人

ライフステージ構成



< 標本抽出法 >

母集団 : 茨城県の市町村に居住する20歳以上の男女個人
 標本数 : 1,500
 地点数 : 市部 97地点
 町村 10地点
 計 107地点
 抽出法 : 層化二段無作為抽出法

〔層化〕

1. 県内の市町村を、市または郡を単位として、次の5地域に分類した。

県北	日立市, 常陸太田市, 高萩市, 北茨城市, ひたちなか市, 常陸大宮市, 那珂市, 那珂郡, 久慈郡
県央	水戸市, 笠間市, 小美玉市, 東茨城郡
鹿行	鹿嶋市, 潮来市, 神栖市, 行方市, 鉾田市
県南	土浦市, 石岡市, 龍ヶ崎市, 取手市, 牛久市, つくば市, 守谷市, 稲敷市, かすみがうら市, つくばみらい市, 稲敷郡, 北相馬郡
県西	古河市, 結城市, 下妻市, 常総市, 筑西市, 坂東市, 桜川市, 結城郡, 猿島郡

2. 各地域内においては、さらに市郡規模によって次のように分類した。

- ・人口10万人以上の市
- ・人口5万人以上の市
- ・人口5万人未満の市
- ・郡 部

(注) ここでいう市とは、平成22年4月1日現在市制施行の地域をさす。

〔標本数の配分〕

各地域・市郡規模別の層における20歳以上人口（平成22年4月1日現在の推定数）より、1つの調査地点の標本数が15人程度になるように調査地点の数を決定し、1,500の標本を比例配分した。

〔抽 出〕

1. 調査地点は、平成17年国勢調査時に設定された調査区を基本単位として使用した。
2. 調査地点の抽出は、調査地点が2地点以上割当てられた層については、

$$\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$

を算出し、等間隔抽出法によって該当番目が含まれる調査区を抽出して抽出の基点とした。

3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の市区町村コードに従った。
4. 調査地点における対象者は、住民基本台帳及び選挙人名簿により、抽出の基点から等間隔抽出法によって抽出した。

各地域・市郡規模別（層別）標本数・調査地点数

地域	摘 要	人口10万人 以上の市	人口5万人 以上の市	人口5万人 未満の市	郡部 (町村)	計
県北	推定母集団	280,928	90,986	102,133	46,464	520,511
	標本数	175	57	63	29	324
	地点数	12	4	4	2	22
県央	推定母集団	215,267	107,129	0	61,946	384,342
	標本数	134	67	0	39	240
	地点数	10	5	0	3	18
鹿行	推定母集団	0	169,734	56,633	0	226,367
	標本数	0	106	35	0	141
	地点数	0	8	3	0	11
県南	推定母集団	378,362	243,256	110,302	76,591	808,511
	標本数	236	151	69	48	504
	地点数	17	11	5	3	36
県西	推定母集団	204,684	141,253	74,139	47,152	467,228
	標本数	128	88	46	29	291
	地点数	9	6	3	2	20
総数	推定母集団	1,079,241	752,358	343,207	232,153	2,406,959
	標本数	673	469	213	145	1,500
	地点数	48	34	15	10	107

< 調査地点一覧 >

地域	規 模	市 郡	調査対象地点	対 象 数	地域	規 模	市 郡	調査対象地点	対 象 数
県北	十万人以上の市		日立市川尻町6丁目	15	県南	十万人以上の市		土浦市大岩田町	14
			日立市田尻町5丁目	15				土浦市荒川沖	14
			日立市助川町1丁目	15				土浦市大手町	14
			日立市中成沢町3丁目	15				土浦市並木3丁目	14
			日立市千石町2丁目	14				土浦市神立町	14
			日立市大沼町1丁目	14				取手市西2丁目	14
			日立市久慈町5丁目	14				取手市新町1丁目	14
			日立市城の丘4丁目	14				取手市東6丁目	14
			ひたちなか市青葉町	15				取手市青柳	14
			ひたちなか市大字田彦	15				つくば市谷田部	14
			ひたちなか市大字佐和	15				つくば市西大沼	14
			ひたちなか市平磯町	14				つくば市山中	14
	以上の市		常陸太田市宮本町	15				つくば市長高野	14
			常陸太田市真弓町真弓ニュータウン	14				つくば市桜2丁目	14
			常陸太田市折橋町	14			つくば市竹園1丁目	14	
			那珂市大内	14			つくば市鷹野原	13	
		未満の市		高萩市高浜町3丁目		16		つくば市六斗	13
				北茨城市中郷町石岡		16	五万人以上の市		石岡市茨城3丁目
	常陸大宮市根本		16		石岡市旭台3丁目	14			
	常陸大宮市野口		15		石岡市大谷津	14			
郡部		東海村大字村松荒谷台	15		龍ヶ崎市野原町	14			
		大子町大字矢田	14		龍ヶ崎市佐貫4丁目	14			
県央	十万人以上の市		水戸市朝日町	14		龍ヶ崎市奈戸岡		14	
			水戸市見川町	14		牛久市中央5丁目		14	
			水戸市柵町2丁目	14		牛久市田宮町		14	
			水戸市笠原町	14		牛久市中根町		13	
			水戸市西原2丁目	13		守谷市薬師台五丁目		13	
			水戸市青柳町	13		守谷市みずき野七丁目		13	
			水戸市姫子1丁目	13	未満の市			稲敷市佐倉	14
			水戸市袴塚3丁目	13				稲敷市飯出	14
			水戸市上国井町	13				かすみがうら市大峰	14
			水戸市田野町	13			つくばみらい市大字豊体	14	
	以上の市		笠間市稲田	14		つくばみらい市絹の台2丁目	13		
			笠間市大字平町	14	郡部		阿見町中央2丁目	16	
			笠間市大字下郷	13			阿見町大字曙	16	
			小美玉市大字西郷地	13		利根町大字押戸	16		
		郡部		小美玉市大字上玉里	13	十万人以上の市		古河市鴻巣	15
				茨城町大字上飯沼	13			古河市本町2丁目	15
		茨城町大字上石崎	13		古河市本町3丁目		14		
		城里町大字石塚	13		古河市本町2丁目		14		
鹿行	五万人以上の市		鹿嶋市大字宮中	14			古河市柳橋	14	
			鹿嶋市大字志崎	14			筑西市市野辺	14	
			鹿嶋市大字宮中	13			筑西市布川	14	
			神栖市大野原4丁目	13			筑西市旭町	14	
			神栖市賀	13			筑西市新治	14	
			神栖市波崎町西部松本	13	五万人以上の市			結城市大字結城四ツ京	15
			神栖市大字太田須田団地	13				結城市大字大木	15
			鉾田市大字紅葉	13				常総市豊岡町	15
	未満の市		潮来市川尾	12				常総市菅生町	15
			潮来市上戸	12				坂東市辺田	14
			行方市山田	11			坂東市長須	14	
		郡部					下妻市大字比毛	16	
					桜川市富岡	15			
					桜川市坂本	15			
					八千代町大字大間木	15			
					境町大字志鳥	14			